

巖 神 青

【内 容】

- ・ 東北六県神道青年協議会親睦事業開催
- ・ 皇室奉送迎活動
- ・ (一社)神道音楽協会主催東日本大震災復興祈願祭助勢活動
- ・ 鶴住神社御輿渡御祭助勢復興支援活動
- ・ 盛岡少年刑務所収穫感謝祭奉仕
- ・ 盛岡少年院収穫感謝祭奉仕
- ・ 第八回役員会開催
- ・ 第九回役員会、臨時総会、会員懇親会開催

東北六県親睦事業開催



○十月二十五日(火)に『東北六県神道青年協議会親睦事業』が開催された。
この度の親睦事業は、『2016希望郷こわて国体デ

モンストレーションスポーツ エンジョイ インディアカ in 平泉」と題し、平泉町立長島体育館にて『インディアカ』と呼ばれるニュースポーツを岩手県神道青年会が主管県なり開催したものの。

『インディアカ(ドイツ語・Indiaca)』とはドイツで考案されたニュースポーツで、ルールはバレーボール競技によく似ており、サーブから始め、レシーブ・トス・アタックの三段構成で敵陣に三回以内でボールを返す競技である。

この親睦事業には、東北六県神道青年協議会櫻谷会長以下総勢四十九名の会員にご参加頂き、インディアカを通して親睦を深めた。当日は単位会関係無くランダムに編成されたチームで行う親睦リーグと、単位会でチームを作って行うトー

ナメント戦とを行った。親睦リーグでは各単位の枠を超えてのチーム競技で親睦を深めつつインディアカのルール等を確認し、次に行われたトーナメント戦では、豪華商品の獲得を目指し各単위가死力を尽くして戦った。



結果は一位青森、二位山形、三位宮城、三位岩手となり、惜しくも岩手はトップに立つことは出来なかったものの、親睦リーグ、トーナ

メント戦を通し、多くの会員の皆様と交流を深められた実りある親睦事業となった。

インディアカ競技の後は、場所を一関の矢びつ温泉「瑞泉閣」に移し、懇親会が行われ、各単位の枠を超え東北の同志として総勢五十二名の参加の下、より一層お互いの絆を深めあった。



改めて、本事業にご協力頂いた関係各位、特に平泉町インディアカ協会様、

平泉町体育協会様に心より御礼申し上げる次第である。

天皇皇后両陛下並に 皇族方御奉送迎活動

○九月二十八日～十月二十四日の間、岩手国体並びに障害者スポーツ大会に際して天皇皇后両陛下が行幸啓され、また多数の御皇族方が岩手県にお成りになり、計十六日間で会長以下延べ百二十三名による奉送迎活動を行った。この期間中、神社庁支部とあわせて一四、九一四本の小旗を配布した。前回までの奉迎活動では主に神社界でのみ小旗を配布していたが、今回は岩手国体ということで全県挙げての奉送迎活動が展開され、市町村においても相当数の小旗が準備され、前もって市民に奉迎箇所の連絡があ

り、その場所において市町村(若しくはボランティアスタッフ)が小旗を配布しており、場所によっては、小旗の配布を行う必要がないところもあった。



小旗を配布した市民からは「岩手に行幸啓になる最後の機会になるかも」という声も聞かれ、予想以上の方が奉迎に参加したように思う。中には手作りの小旗

を作製して参加した子供もあり、皇室敬慕の念の醸成に資する活動となった。



この度の岩手国体並びに障害者スポーツ大会に際し社務ご多用の折にも拘わらず会員のご協力の下ご奉迎活動を事故無く終えることが出来ましたことは誠に有り難く、衷心より感謝申し上げます。



**(二社)神社音楽協会主催
東日本大震災復興祈願祭
助勢活動**

○十月十七日、一般社団法人神社音楽協会主催による東日本大震災復興祈願祭が大槌町の小鎚神社(松橋知之宮司)に於いて執り行われ、震災復興支援事業として助勢活動を行った。

十三時に同神社に集合し、駐車場整理や参列者の案内、



チラシ配布等を行い、十五時からの復興祈願祭に参列。祭儀に於いては、復興祈願と今回の神楽奉納の旨が奏上された後、宮司、神社役員、神社庁、神社音楽協会、上閉伊支部の各代表が玉串を奉り、参列者と共に復興への祈りを捧げ、祭儀後には神社音楽協会より岩手県神社庁へ震災の御見舞金が贈呈された。

引き続き拝殿で①榊舞(2名) ②浦安の舞(4名)

③悠久の舞(4名)が順次奉納され、参列者の方々は、普段中々見ることでできない優美な舞に深い感銘を受けていたようだった。

十七時に音楽協会の皆様をお見送りし、解散となった。

**復興支援活動・鶴住神社
社御輿渡御祭助勢活動**

○九月十八日、鶴住神社で執り行われた御輿渡御祭に、復興支援活動として助勢し

た。午前七時半より、神幸祭祭儀が厳粛に執り行われ、午前八時頃から渡御開始。渡御開始直後から雨が降り出したものの渡御は続行され、本降りの雨の中、仮説商店街、地区のグラウンドで郷土芸能の奉納が行われた。

渡御に参加された方々、泥まみれになりながらも郷土芸能の奉納をされた方々、傘をさして見物にいらしている方々からは、お祭にかける熱気溢れる力を強く感じた。渡御行列は賑やかに進み、神社に戻って還幸祭直会となり、十七時頃終了となった。

お祭があつた鶴住居地区は未だに盛り土の最中。歩ける区間が限られており復興が完了するまでにはまだまだ時間がかかる様子だった。

盛岡少年刑務所収穫感謝祭奉仕

○毎年恒例の盛岡少年院収穫感謝祭が、十月二十二日、菅原会長以下四名の奉仕の下執り行われた。



午前七時半に盛岡八幡宮参集殿前に集合し盛岡少年刑務所に移動し祭場補設の後、習礼。午前十時より三澤教誨師の典儀により厳肅に執り行われた。献饌では受刑者二名が奉仕し神前に供

物を奉献。齋主、刑務官に続き受刑者代表が玉串を奉じて拝礼した。参列した受刑者二十名は代表者に合わせ一糸乱れぬ姿で拝礼していた。

我々の最も大切な務めは神事に於いて祈る事ではないだろうか。青年会、また一神職として奉仕させて頂いているという気持ちをお忘れず、季節柄多忙の方も多いと思うが、多くの会員に奉仕してもらい、貴重な経験を積んで頂きたいと思う。

また受刑者の皆さんには神の恵を感じ、更正の一端となつて頂く機会となれば幸甚である。

盛岡少年院収穫感謝祭奉仕

○先の少年刑務所収穫感謝祭に続き、十一月二日、盛岡少年院収穫感謝祭が菅原会

長以下六名の奉仕により執り行われた。



午前八時半に盛岡八幡宮駐車場に集合し、盛岡少年院に移動。到着後すぐに祭場の補設をし、習礼を行う。

午前十時四十五分より、典儀を務められた一條教誨師の法螺貝を合図に参進。報鼓の後に修祓を行い祭儀が開始された。献饌では受刑者二名が手長を奉仕し、院内で収穫された野菜を三

方二台に乗せて神前に奉献。齋主、法務教官に続き受刑者代表が玉串を奉り拝礼した。奉仕後は食ベログで有名な「弥太郎」にてラーメンをすすり、盛岡八幡宮に戻つて片づけを行い解散となった。

まだ奉仕したくない会員の皆様には是非来年は都合をつけていただき、この貴重な機会を経験していただきたいと思う。

第八回役員会開催

○九月二十二日、第八回役員会が開催された。下半期事業計画が承認され、次期会長に高橋数馬現副会長が選任された。来る第九回役員会に於いて副会長人事が上程され、会員懇親会と併せて開催される臨時総会に於いて正副会長人事が承認される予定。

第九回役員会 並に 臨時総会 並に 会員懇親会 開催



○十一月十五日、第九回役員会・臨時総会・会員懇親会が花巻温泉千秋閣を会場に開催された。
役員会に於いては会長挨拶の後各種報告が行われ、次期神道青年全国協議会会

長に、神奈川県佐野巖現神道青年全国協議会監事が選任されたことや、次期東北六県神道青年協議会会長に当会の藤原常任役員が選出されたことなどの報告があった。協議事項では高橋



次期会長より次期副会長人事(案)の上程が行われ、小保内現副会長、多田現常任役員、藤原現常任役員の三名が次期副会長に推され、可決された。

続く臨時総会に於いては会長以下二十七名の参加の下播磨常任役員が議長に選出され、第八回役員会に於いて可決された次期会長人事と先の第九回役員会に於いて可決された次期副会長人事について、満場一致に

て承認された。その後高橋次期会長より挨拶があり、次期に向けての抱負などを会員に向かって呼びかけた。



過去最大規模の三十五名の会員が参加した懇親会に於いては、藤原庁長、稲田副庁長、新山花巻支部長、新山参事を来賓に迎え、今年度で卒業される吉田、伊藤両顧問にも上座にお座り頂いた中で、賑やかに開催された。菅原会長より「次期執行部は七十周年事業や東北六県禊錬成会を開催する時期

で大変だと思いが、執行部を中心にまとまって会を盛り上げて頂きたい。また次期東北六県会長に藤原現常任役員が選ばれたので、会員には是非支えて頑張ってください。」との挨拶があり、



長より挨拶を賜った後、吉田顧問の乾杯により宴が始まった。楽しい時間はあっという間に流れ、伊藤顧問のメによりお開きとなった。その後部屋を移して二次会が開かれ、一次会よりもくだけた雰囲気の中、大いに懇親を深め合った。



【編集後記】

前号で、「それにしても台風被害の多い年です」と書きましたら、今度は福島県沖地震とそれに伴う津波が発生し、漁業関係者に被害が出ているようです。熊本、鳥取、そして福島と、もう自然災害はこりごとくいったところでしょうか。

申年は激動の年とも言われます。自然災害以外にも、英国のEU離脱やトランプ次期米大統領など、来年どころか今後数十年単位で影響を及ぼしそうな出来事の多い年でもありました。さて、来年は酉年。鶏鳴とともに岩戸が開かれたように、明るい年を願わずには居れません。それには私達神職の神明に対する、真心よりの奉仕がもつとも大切だと思うのは私だけではないでしょう。(宜)

発行所 岩手県神道青年会
住所 一関市釣山一九八幡神社社務所内
電話・FAX 〇一九一―二三―二九〇六